

二十二夜待ち

作/木下順三

演出/くものみさえ

「おら何でも藤六がええでよう」

「おらも婆さまがいっちええ」



会場：劇団名芸アトリエ

2022年3月24日(木) 19時

25日(金) 19時

26日(土) 11時・15時

27日(日) 11時・15時 開演

(開場は開演の30分前)



【こあいさつ】

創立60年記念公演No. 2は木下順二の民話劇です。
現代を生きる私たちの心に大事なものをよみがえらせてくれる、今こそ、ご覧いただきたい作品です。
演劇は、俳優とお客様が同時進行の物語の世界を体験し、響き合いながら完成させる文化です。
ここが演劇ならではの特徴であり、映像文化と異なる点です。
そして、多くの他者と一緒に演劇を観ることは、ひとりで観るより何倍もの大きさで、湧き起る感情を豊かなものにします。
普通に生きることをそのままならぬ今、この演劇公演が、みなさまの心にひとときも灯をともしものになればと願います。
今回は劇団名芸アトリエでの公演ですが、安心してご覧いただけるよう、入場者を制限して感染防止対策を万全におこないます。
みなさまのご来場、心よりお待ちしております。

劇団名芸

【あらすじ】

木下順二／作の民話劇「二十二夜待ち」も上演します。
「二十二夜待ち」とは民間信仰「月待講」のひとつで、満月の7日後、仲間が寄り合って二十二夜の月が昇るのを待ち、経を唱え悪霊を追い払う行事です。村人たちが寺のお堂で二十二夜の月が昇るのを待ち、飲んだり食ったり歌や踊りを楽しんだりしていたところへ盗賊の親分が乗り込んできました。彼を恐れ皆が逃げ帰ってしまったお堂に老婆と孫息子が取り残され、酒の相手をさせられる羽目になります。
荒々しい盗賊と老婆に寄り添う孫息子・・・二十二夜のお月様が教えてくれたお話です。



【キャスト】

藤六 湊人 裕也
藤六の妻さま 太田 耀子
ならずもの 柘 倫司
和尚さま 小原 鉄
村の人々 栗木 慶子
高村 真一
宇田 順一
水谷 文夫
吉田 匡利
(+その他劇団員)

【スタッフ】

演出 しののみさえ
舞台監督 安達 友隆
舞台監督助手 小原 鉄
装置プラン 浅井 知恵子 (フリー)
装置製作4-7 山本 龍之介
音楽・効果 近藤 亜由美
照明プラン 津田 昌一
照明オペ 桐島 暢治
小道具 栗木 慶子
中村 透子

衣装 太田 耀子
制作 柘 倫司
長田 武藤 陽子
宇田 順一 由子
小川 佐藤 智洋
佐藤 広瀬 達弥
亀山 薫
山本 龍之介
宣伝美術

【入場料】

前売/一般2000円、シルバー(65才以上)・大学生1500円、中高生1000円
※当日券はそれぞれ300円増※小学生以下は入場無料。
※全自由席(日時指定制) 感染対策として1ステージ50席に限定、オーバーする場合は他のステージに移動をお願いいたします

【チケット取扱所】

- ◎劇団名芸 052-803-2922 ◎ほっと平針 052-848-7657
- ◎葦文庫ピコット 052-803-1020 ◎天白文化小劇場 052-806-8060
- ◎愛知芸術文化センタープレイガイド 052-972-0430
- ◎インターネット(PassMarket)でもチケットをご購入いただけます。QRコード アクセス ↓

会場：劇団名芸アトリエ 地下鉄鶴舞線「平針」駅2番出口より徒歩5分



詳しくは

劇団名芸 検索



PassMarket

【お問い合わせ】
劇団名芸 TEL/FAX 052-803-2922
e-mail: meigei@wh.commufa.jp

新型コロナウイルス感染防止対策

- ・入場時の検温、手指消毒にご協力ください。・マスクの着用をお願いします。・37.5度以上の熱がある場合はご来場をお控えください。
- ・チケットに連絡先をご記入ください。・半券部分を回収させていただきます。万一感染者が発生した場合は連絡させていただきます。